



喜納 正誠 議員

物価対策について

物価高対策として水道料金を5月から半年間、基本料金を免除する旨の施策がありました。私の提案として令和8年5月から令和18年まで、約10年間無料化、免除すべきと思うが水道事業には歴史があって、大城保晴村長の頃の施策に、財源の苦しい村であっても、村民に協力をお願いされてきた。今、水のおかげで村の財政も豊かになりました。そこで、物価対策の一例として、水道料金の無料化、免除すべきと思うが。

上下水道課長（金城正道）

水道事業については、公営企業の健全経営の確保ということがまず強く求められております。水道事業独自の基本料金免除の実施は現在のところ考えておりません。

今水を引いたおかげでホテルも盛んになり、村の財源も豊かになった。その恩恵を等しく村民に与えられべきじゃないかということからすれば、無償にしてもいいんじゃないかということをおもう政治判断で、ぜひ村長に答弁していただきたい。

村長（長浜善巳）

現在、村内各所で漏水事故も頻繁に発生している。今後、こういった整備も多くの予算が必要になってくることを予想されます。今後も水道整備に充てることを念頭に入れなければならぬ。議員のおっしゃる免除は厳しいと考えています。

わたた一村これから先50年（どこに向いていくかについて）

これまでの約50年、観光産業を主として村の発展を確立してきた。しかしこの施策がいつまでも続くとは限らない。これから先の50年に向けて、まず戦略、施策があつてしかりと思う。ということと近隣のうるま市石川地区との信頼関係に基づき、姉妹都市の締結、協定を結ぶということ提案したい。恩納村のメリットは新たなメニューが増えるシヨット

宇加地区からの陳情について

アクセス道路の件の進捗。陳情は上げたけれども、どうなっているのか。まだ関係者との接触も、云々もないという話をきいたんですが、あれから一年になります。進捗状況をお聞かせください。

企画課長（喜久山隆）

読谷村との合意形成を図る必要性があるというところで答弁しました。担当課を通して読谷村の状況等、情報交換を行っているが、これといった進展は、今のところありません。

宇加地区民挙げてのお願いごとなんです。もっと汗をかいてやる気を起こしてやっていただけませんか。

企画課長（喜久山隆）

恩納村から軍用地をまたいで読谷村へ通過するというところで、読谷村との合意形成ということが一番重要だと考えています。



公私連携幼保連携型認定子ども園の開園に向けて、地産地消についての話合いがなされたか伺う。

福祉課長（石川司）

地産地消の話合いはなされていませんが、恩納村地産地消推進計画に基づいて、地産地消を推進していければと考えています。生産者との交流体験を含めた食育が、各保育所、認定子ども園等で、地域の農産物を利用して、健康な食生活を促す取り組みとして重要だと考えています。

観光と文化の融合・伝統文化保存

尚敬王、万座毛に訪れて300年、村としてイベント計画の話合いはされたか伺う。

社会教育課長（仲村泰弘）

文化財の保存・活用は教育行政の重要な役割の一つであり、郷土の歴史や文化に対する理解を深めることは、大変重要であると認識しています。尚敬王が万座毛に訪れて300年という節目になりますので、万座毛ミニ企画展を実施し、万座毛に関する解説資料等を通して、さらなる万座毛への理解促進に努めたいと考えています。



亀谷 梢 議員

どう考える未来を担う子どもたち

「恩納村教育ビジョン」を策定して2年が経過しています。その成果と達成度を伺う。

学校教育課長（親泊誠）

幼児教育と小学校教育は、プロジェクトにおいて福祉課と連携を図り推進してきました。小中学校は、自分で学習計画を立て、学びたい場所を選び、タブレット端末等を活用して、自分の課題に真剣に向き合う姿や友達と教え合う姿が見られ、ワクワク感にあられた学びが実現されつつあります。

村長、教育長が考える恩納村の未来を担う子どもたちの将来像を伺う。

村長（長浜善巳）

恩納村第6次総合計画の将来像である「恩の青豊かな緑輝く人々 未来

今水を引いたおかげでホテルも盛んになり、村の財源も豊かになった。その恩恵を等しく村民に与えられべきじゃないかということからすれば、無償にしてもいいんじゃないかということをおもう政治判断で、ぜひ村長に答弁していただきたい。

村長（長浜善巳）

わたた一村これから先50年（どこに向いていくかについて）

これまでの約50年、観光産業を主として村の発展を確立してきた。しかしこの施策がいつまでも続くとは限らない。これから先の50年に向けて、まず戦略、施策があつてしかりと思う。ということと近隣のうるま市石川地区との信頼関係に基づき、姉妹都市の締結、協定を結ぶということ提案したい。恩納村のメリットは新たなメニューが増えるシヨット

「つなごう恩納村」を目指し、大人だけがつかないでいくのではなく、子どもたち自身も未来へつなぐ主体者であると考えています。恩納村の子どもたちが、この豊かな自然と地域の中で育ち将来は恩納村の未来を担う人材となることを心から期待しています。

教育長（宜志富清博）

子どもたちの将来像は自立、協働できる、新しいものをつくりだしていく創造の力を持ち、人生の主体者として、主人公として幸せに生きる人材であります。「恩納村全体で子どもを育てる」環境ができつつあるのですが、その中で子どもたちが、未来の恩納村をよい村にしたいと願い、行動している大人と協働で、自らも地域社会に貢献していきたいという喜びを感じながら成長していくことを期待しています。

中学校において地域課題解決を目的とした「SDGsパートナーシッププロジェクト（うんな魂）」の成果を伺う。

学校教育課長（親泊誠）

村役場の関係各課や地域団体、民間企業等が学校の学びの場に参画することで、教育活動を軸とした「産官学民連携」のネットワークが強化されていると考えています。卒業生が出てきたことで、地域や学校を題材にした学びの経験が、高校・大学での探究活動や

ピングとか。石川には闘牛場があったり社交場があったり買い物ができたり、伊波グスクがあったり、恩納村にないいろんなものがあります。それを恩納村の一つの観光マップに石川を取り入れることにより、リピーターとして、例えば本土からの観光客が、メニューが増えた恩納村を見て、わくわくするような誘いができるのではないかとということからすれば、まず近隣のうるま市と信頼に基づき、そういう姉妹都市の締結です。

企画課長（喜久山隆）

恩納村にとりましては総合計画、総合戦略と10年計画があります。この石川地区、大型スーパーのない本村にとつては、やはり石川地区というところは商業施設や病院等が多く、特に恩納区以南の村民にとりましてはアクセスもよく生活圏となっているというところは事実でございます。本村としては、相互利益の生まれる分野でどのように連携を図れるかというところを関係課で検討していきたいと考えています。



地域との関わり、また将来的なUターン意識につながることを期待されています。

恩納村としてのラーケーションの導入計画はあるか伺う。

学校教育課長（親泊誠）

令和8年度中の導入に向けて検討しているところです。具体的には導入する場合の出席扱いの基準として、県立学校や与那原町と同様に欠席扱いとはならない、出席停止として認めるという方向で検討しています。

地産地消について

恩納村地産地消推進計画における地域共同売店等の位置づけは。

農林水産課長（平安名盛常）

恩納村地産地消推進計画において、地域共同売店等の明確な位置づけはありませんが、身近な購買拠点として地産地消推進の役割を担う流通先の一つと認識しています。

企画課長（喜久山隆）

数のほうは減少している現状です。福祉的な側面も含めて存続していけるような形で、各課連携を図りながら検討していきたいと考えています。